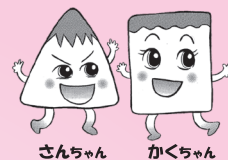




きたなごやし

Vol.29
2020.9

男女共同参画情報紙



目次

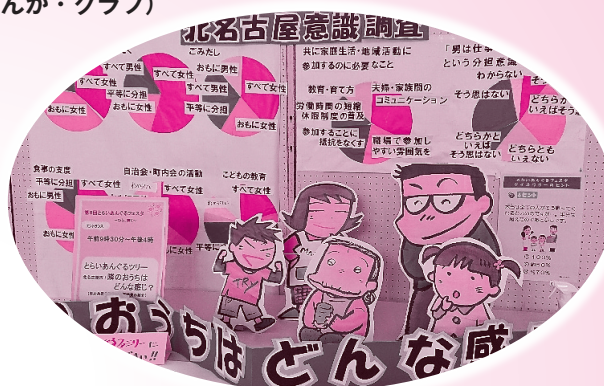
- P2~P3 働き方改革
「テレワーク」と
男女共同参画
- P4 DV 相談



とらいあんぐるフェスタ(さんか・クラブ)



起業フォローアップセミナー



とらいあんぐるフェスタ(尾張えみの会)

11/13
~15

「日本女性会議2020あいち刈谷」オンライン開催

日本女性会議とは、1984年に名古屋市で初めて開催された日本最大の「男女共同参画」イベントです。全国各地で毎年開かれ、その時代に合ったテーマについて学び、同じ目的を持って社会に関わる仲間が励まし合い、活動のヒントを得てパワーアップできる場でもあります。

今回の大会のテーマは『かけがえのない“わたし”を生きる～ものづくりのまちから発信～』。

ニックネームを「(※)ミライク(MeLike)会議」と命名しています。これは、学生ボランティアが中心となって考えたとのことと新しい取り組みです。変わる社会情勢の中で活動の根本を変えず、時代を取り入れて若い世代とつながっていくのは、長く継続してきたもののほど大変難しいこと。彼らは自分のこととして捉え、若者らしい疑問や考えをツイッターで発信しています。

私たちの住む北名古屋市でも「世代をつなぐ」は課題です。
「新しい会議」に期待しています。(K)

〈3つのコンセプト〉

- ①「生活と仕事の調和」の創造
- ②多様性の尊重
- ③世代をつなぐ



日本女性会議
2020 あいち刈谷
Japan Women's Conference
2020 in Aichi KARIYA

(※) みんなのライクを集めて未来のライフをクリエイト
「自分らしさ」が大切にされ、それぞれが自分の「好き」を実践できる選択肢の多い未来を目指す」の意。
(日本女性会議2020あいち刈谷HPより)

※詳しい日程はホームページ (<https://jwc2020aichikariya.jp/>) をご覧下さい

働き方改革「テレワーク」と男女共同参画

今年は世界的に新型コロナウイルスが流行し、日本でも感染拡大防止のため全国に緊急事態宣言が発出され、外出自粛、休業要請など、生活の規制が余儀なくされました。さらに「新しい生活様式」の提言により働き方や日常生活のあり方が見直されました。

そこで今回は、新しい働き方『テレワーク』にスポットを当て、実践した市民にインタビューしました。働き方改革とともに、特に家庭内での男女共同参画を考えてみる機会になればと思います。



20代男性・Uさん

IT企業に勤めている独身者です。3月の初めからテレワークをしています。

一般的なことですが、通勤時間がなくなり、仕事以外に使える時間が増えたと思います。正直なところ、朝遅くまで寝られるのが有難いというのが一番です。会社に関しては言えば、オンラインで仕事ができる環境さえ整っていれば、基本的に出社していることと変わらず働くことができると思います。

通勤時間も
有効に使えるのは
うれしいね!

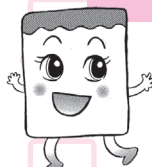


60代男性・Oさん

会社で改善された点は、一時的ですが会計処理で捺印手続きからメールでの承認手続きに変更されたこと。私自身として良かった点は、通勤時間が有効活用できること、計画的な業務スケジュール管理が必要不可欠で進められたこと。問題点は、コミュニケーション不足を感じたこと。

家庭では、空いた時間で少しは家事の手伝いができること、都合の良い時間に買い物もできました。妻は、通勤時の事故などの不安がなくて安心だと言っています。

コミュニケーションも
大切だよな!



50代女性・Nさん

仕事はメールのやりとり、会議はオンラインでクリア。在宅でも十分仕事ができたと実感しました。ですが、夫は在宅勤務ができない職種で、休業になって仕事ができなく収入も減りました。新しい働き方は職種によることも痛感しています。

家庭では以前から家事など協力的な夫ですが、ますます率先してやってくれました。仕事の形態が違ってもお互いを尊重しながら助け合うことが大切です。社会に関してもそうあるべきだと思います。

在宅勤務も
課題が
結構ありそう!

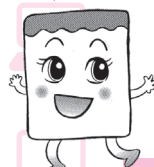


40代男性・Mさん

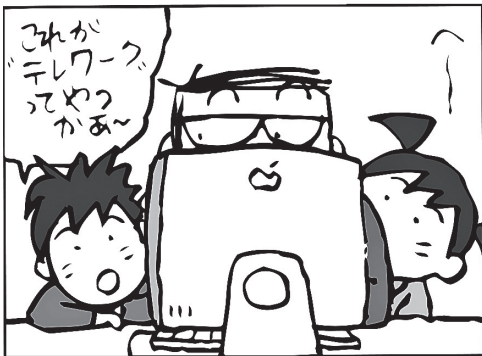
通勤自粛が会社で導入され通勤時間がなくなったことで、時間の使い方が自由になり、体力的にも余裕ができました。仕事は効率的な方法を考えて、定時内に作業を行えるようになりました。デメリットとしては、上司の目が届かないことで手を抜いてしまう可能性も。

妻も在宅勤務になり、子どもたちとも接する時間が増え、家族のコミュニケーションがより深くとれました。時間を有効的に使えるので、このままりモートワークが続いてほしいと思います。

気持ちにも
余裕ができる?



テレワーク ぶん

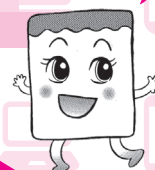


50代男性・Yさん

通常行ってきた対面式のコンサルティングや現場研修ができなくなりましたが、以前からテレワーク対応準備を進めていたので前倒しして運用できるようになりました。移動をはじめとした集合するための準備は必要なく資料も確実に共有できるため、ミーティングや指導の精度が高まりました。

この機会は今までの価値観を変えるチャンスでもあり、実際多くの企業がオンラインで仕事を進められるよう変化していると思います。

世の中どんどん変わっていくね!



30代女性・Kさん

会社の一部が在宅ワークできる環境になり、子育てなど両立支援の必要な社員についても一部在宅で仕事ができる方向性で動いています。作業ベースや資料作成などは効率化されましたが、社内で感じられる雰囲気やニーズを読み取りにくくなったので、在宅と出社で業務を行っていくことが良いのではないかと思います。

夫が在宅時は家事を担ってくれましたが、家族で家事・育児について改めて学んだように思います。

家族の協力も大事!



インタビューから、今、新しい働き方が始まっていることが伺えます。今後は在宅勤務が増え、企業はもちろん、家族間の協力が必要になります。また、多様化する社会生活の中で、自分らしく生きていくためのアイデアも必要です。男女共同参画の理念をもとに新しい社会を築いていきましょう。

「ひとりごと...」 -70代女性編-

「アンガーマネジメント」

日頃、私と夫はお互いの生き方や趣味を尊重し、ほどほどのすれちがい生活で摩擦も少なく過ごしている。

しかしこのたびのコロナ禍で在宅の毎日が続き、四六時中顔を合わせていると見えなくていいものが見えてきたり、少しの意見の違いが大きくなってきたり。「へ～、そうなの。そういう考え方のの?」などと思うことが日ごとに増えてきて、少々イライラが募る…。

そうだ!こんな時こそ(※) アンガーマネジメント!

夫と妻、それぞれひとつの個性と認めて、心穏やかにこれからのことを話し合ってみましょうか。つれあいの気持ちをもっとよくわかる(?) かもしれない。

(ぐっちゃん)

(※) 怒りの感情と上手に付き合うための心理トレーニング (日本アンガーマネジメント協会)



DV相談について

新型コロナウイルス感染拡大に伴う、外出自粛や学校の休業等は、様々な生活不安やストレスの原因となっており、配偶者等からの暴力(DV)の増加や深刻化が懸念されています。

自宅で過ごす時間が増えている中、家族や親子関係、子育てに関することなど、心配や悩みが多くなっていませんか？ひとりで悩まず、相談してください。

内閣府では、新たな相談窓口として「DV 相談+ (プラス)」を設置しました。



DV 相談プラス (ホームページ <https://soudanplus.jp/>)

電話(24 時間受付)0120-279-889

メール(24 時間受付)

チャット(受付 12:00 ~ 22:00)

※ホームページからアクセスできます
また右の二次元バーコードからも
ご利用いただけます



- ✓ 専門の相談員が対応
- ✓ 面談、同行支援などの直接支援も実施
- ✓ 安全な居場所も提供
- ✓ 24時間電話対応
- ✓ 10か国語対応

DV のお悩み、ひとりで抱えていませんか？

あなたが配偶者やパートナーから受けている様々な暴力(DV)について、専門の相談員と一緒に考えます。「これってDVかな？」「暴力を振るわれている」「今すぐパートナーから逃げたいけどどうしたらいいの？」「自分だけでなく子どもたちのことも心配」など、どんなご相談もお気軽にご連絡ください。

また、周りで被害に困っている方がいる場合には、相談窓口等の情報を共有していただき、一人でも多くの方が相談、支援につながるできるようご協力をお願いします。

ひとりで悩まず、相談しよう！

● 愛知県西枇杷島警察署

☎052 (501) 0110 (代)

● 女性の人権ホットライン

☎0570(070)810

夫・パートナーからの暴力、職場でのいじめやセクシュアル・ハラスメント、ストーカーなど、どんなことでも相談できます。

女性の人権問題に詳しい法務局職員又は人権擁護委員がお受けします。

受付時間：平日 午前8時30分から午後5時15分まで

● DV 相談ナビ(内閣府)

☎0570(0)55210(自動音声による案内)

配偶者からの暴力に悩んでいることを、どこに相談すればよいかわからないという方は、全国共通の電話番号(上記の電話番号)から相談機関を案内する DV 相談ナビサービスをご利用ください。

発信地等の情報から最寄りの相談機関の窓口に電話が自動転送され、直接ご相談いただくことができます。

● 男性 DV 被害者ホットライン(愛知県)

☎080-1555-3055

男性の臨床心理士が電話相談に応じます。近年、男性の DV 被害も増加しています。些細なことでもひとりで悩まず、ご相談ください。

受付時間：毎週土曜日 午後1時～午後4時

(相談日が第5土曜日、祝日、年末年始の場合は実施しません)

● 愛知県女性相談センター(ウィルあいち内)

◎女性悩みごと電話相談専用ダイヤル

☎052(962)2527

女性相談員がお聴きし、一緒に考えます。

相談時間：月曜日～金曜日 午前9時～午後9時

土曜日・日曜日 午前9時～午後4時(祝日、年末年始は休み)

◎DV 電話相談専門ダイヤル

☎052(962)2528

DV 被害者に弁護士が電話でアドバイスします。

相談時間：月曜日 午後2時～午後3時30分(祝日、年末年始は休み)

(第1・3・5月曜日は女性弁護士が対応します)

● DV 相談プラス

(ホームページ <https://soudanplus.jp/>)

電話(24 時間受付)0120-279-889

メール(24 時間受付)

<https://form.soudanplus.jp/mail>

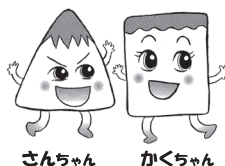
チャット(受付 12:00 ~ 22:00)

<https://form.soudanplus.jp/ja>

※右の二次元バーコードからもご利用いただけます



編集 さんか・クラブ
イラスト えりちゃん
発行 北名古屋市総務部
市民活動推進課 西庁舎 2 階
電話 0568-22-1111
FAX 0568-25-0611
Eメール katudo@city.kitanagoya.lg.jp
ホームページ <http://www.city.kitanagoya.lg.jp/>



編集後記

職場でオンラインミーティングが導入されました。出社しなくてもよく、1画面で数人と意見交換ができ、なんと便利なこと！

が、それぞれの通信環境により、顔がはっきり見えなかったり、発言にタイムラグが生じたりして、議論がスムーズに進まない場面も。うーん、やっぱり膝を交えて、お互いの思いをくみ取りながらの話し合いが、温かみがあっていいなあと感じてしまいました。

“新しい日常”が始まり、新しいコミュニケーションのとり方も必要になりますが、人としての感性は持ち続けたいと思います。(Y)

令和2(2020)年9月発行